

人権だより



西紀南小学校 人権通信 平成30年 7月9日(月) 第4号

☆ともに(いっしょに) いきていこう☆

7月2日(月)の人権朝会では、いろいろな国の違いをもとに、「多文化共生」について学習しました。国によってそれぞれ違いがあります。どんな違いがあるか子どもたちに問うと、「ことば」「あいさつ」「食べ物」「肌の色」「髪の毛の色」「文化」など、たくさん発表をしてくれました。そこで、「あいさつ」を例にして、日本語のあいさつと、ポルトガル語のあいさつを紹介しました。本校には、1学期にブラジルから2人の友だちが3年生に転入しました。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「ばいばい」のポルトガル語の言い方を教えてもらいました。みんなと一緒にあいさつをして覚えました。また、それぞれの国の違いはあっても、「友だちになりたいな。」「なかよくしたいな。」「たくさんおはなししたいな」と思っていることはみんな同じだということを学習しました。お互いの違いを認めてお互いの素敵なおところを見つけられる子、ともに(いっしょに)助け合って生きていける子に育ててほしいと思います。

| あいさつ | |
|--|---|
|  |  |
| おはよう | Bom dia (ぼんぢーあ) |
| こんにちは | Boa tarde (ぼあたるじ) |
| こんばんは | Boa noite (ぼあ のいち) |
| ばいばい | Tchau (ちゃう) |



子どもたちの感想

- 生まれた国や住んでいた国がちがっていても、思っていることやいやなことは同じなのでだれにでも優しくしてあげたいです。
- ポルトガル語で、おはよう、こんにちは、ばいばいの言葉が知れて良かったです。もっともっとポルトガル語を覚えていきたいです。世界の人と仲良くなっていきたいです。
- 国がちがっていても、ちがいをみとめてステキなおところを見つけられるようにしたいです。

人権だより



西紀南小学校 人権通信 平成30年 12月7日(金) 第8号

ぼくがラーメン食べてるとき



12月3日(月)の人権朝会では、「ぼくがラーメン食べてるとき」の絵本から世界の子どもたちの生活について考えました。この本は、絵本作家の長谷川義史さんが、自分がラーメン食べてるときやお菓子を食べているとき、世界の子どもたちはどのような生活をしているのだろう。遊んでいる。働いている。倒れている…。そのようないろいろな状況の中で生活している子どもたちの平和を願って、かかれた本です。

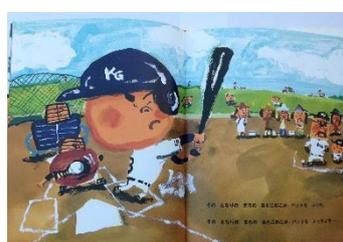
ぼくがラーメン食べてるとき…



テレビを見ている子



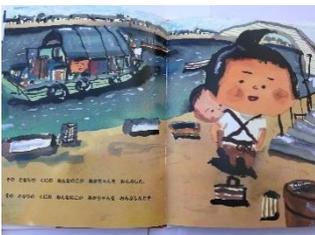
ヴァイオリンを弾く子



野球をしている子



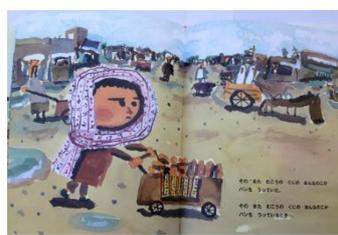
お母さんとお菓子を作る子



兄弟の世話をする子



遠くまで水をくみにいく子



生活のためにパンを売る子



倒れている子

子どもたちの感想

- 今日の人権朝会の話で世界の子どもたちの様子を知り、当たり前と知っていることに感謝したいと思いました。
- 自分が何かをしているときに、世界の人びとは楽しいことも悲しいこともあることが分かりました。いろいろな生活をしている人がいることが分かりました。

人権だより



西紀南小学校 人権通信 平成31年 1月25日(金) 第9号

わたしにできることはどんなことだろう？

世界には、戦争や紛争の起こっている国や地域がたくさんあります。1月21日(月)の人権朝会では、まず、世界の子どもたちの写真を見ながら、その子どもを取り巻く環境や夢について考えました。次に、ユニセフで親善大使として活躍している長谷部誠選手の取り組みと、日本の子どもへの映像メッセージを見ました。最後に、わたしたちにはどんなことができるのか考えました。



どうくつで学習するシリアの子どもたち↑

| | |
|---|--|
| <p>「学校の先生になりたい」</p> <p>ハヤットちゃん 7才 シリア</p>  | <p>「べんごしになりたい」</p>  <p>ニスリーンさん 10才 パレスチナ</p> |
| <p>「生きたい」</p> <p>モハマドくん 10才 バングラデシュ</p>  | <p>体操のコーチになりたい</p>  <p>サジャさん 12才 シリア</p> |

しる であう サポートする つたえる

はせば選手は



長谷部選手も参加！新しい支援のかたち
フレンドネーション

ぎもんをもつ しる かんがえる つたえる



こうどうする



子どもたちの感想

- これからしていきたいことは、ボランティアへの参加です。
- 少しでも役立てたいので、おつりなどを募金したりしたいです。
- 知ったことを行動にうつせるようになりたいです。
- 「生きたい」という夢にびっくりしました。
- 私たちの当たり前が他の国の人にとって当たり前でないと分かりました。
- 学校に行けない子どもや友だちをなくした子どもがいることが分かりました。それでも夢に向かってがんばっているのので、私も夢に向かってがんばりたいと思います。